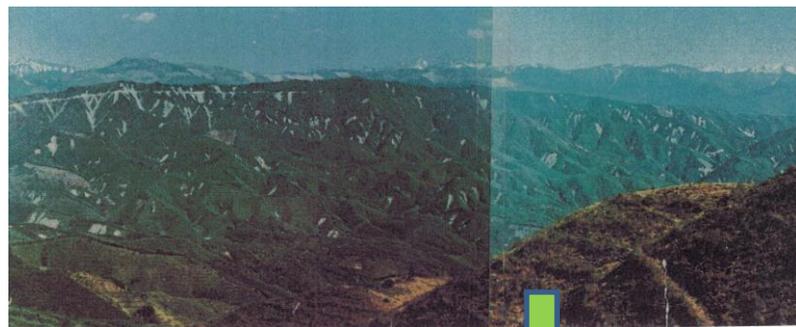
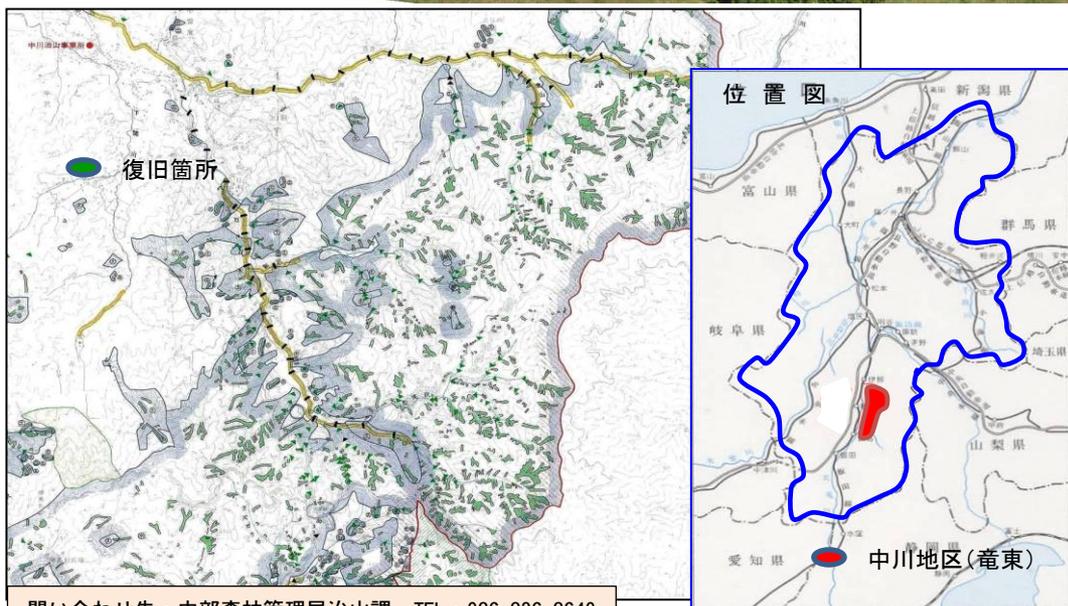


32 伊那谷を襲った梅雨豪雨災害（36災害）山腹崩壊地復旧 長野県（駒ヶ根市、飯島町、中川村）



上段写真：災害後の状況
（昭和41年）
下段写真：復旧後の状況
（昭和58年）

事業実施概要図



○所在場所

長野県駒ヶ根市、上伊那郡飯島町、上伊那郡中川村

○施設・工法の概要

溪間工：371基

山腹工：360ha

資材運搬路：6km

○解説

昭和36年6月に発生した伊那谷梅雨前線豪雨災害、いわゆる「三六災害」によって、中小河川の氾濫、山地崩壊等による土石流など、死者・行方不明者139名、負傷者999名、家屋全壊585戸等、被害額約300億円にのぼる甚大な被害をもたらしました。

これらの復旧のため、昭和37年より中川地区民有林直轄治山事業（竜東）が開始され、復旧した四徳地区の森林の一部は森林体験やキャンプ場など地域住民の憩い・ふれあい等の場としても活用されています。